

環政総発第 051014001 号

平成 17 年 10 月 14 日

実証機関責任者 殿

環境省総合環境政策局

総務課環境研究技術室長

環境技術実証モデル事業

実証済技術に対するロゴマーク及び実証番号の交付について

日頃より環境行政の推進に御理解と御協力を賜り、御礼申し上げます。

さて、環境技術実証モデル事業（以下、「モデル事業」という）は、平成 15 年度より開始され、貴実証機関からも御協力を賜り、これまで 8 技術分野 42 技術を実証致しました。

環境省では、モデル事業の更なる普及や手数料負担に見合う実証ベネフィットの拡大を図る観点から、平成 15 年 4 月以降現在までに実証を終了した技術に対し、今般、ロゴマーク及び実証番号の交付を行うことと致しますので、貴実証機関より別表の実証申請者に交付をお願い致します。

また、別添として「環境技術実証モデル事業・ロゴマークの使用指針」も送付致しますので、ロゴマーク及び実証番号の交付にあたっては、同指針が遵守される場合に限ってロゴマーク等の使用を行うことができることを併せて周知徹底いただくようお願い致します。

通知する実証済技術一覧(平成17年10月現在)

15年度

| 酸化エチレン処理技術分野 | | | |
|---------------------|--|-----------------|----------|
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 東京都 | 酸化エチレン排出ガス処理装置 MEJ-101A | ムラキ株式会社 | 010-0301 |
| | NS排ガス処理装置 NS-EO-01型 | 株式会社 日本触媒 | 010-0302 |
| | 卓上酸化エチレン浄化処理装置 AW-EOA25 | エア・ウォーター株式会社 | 010-0303 |
| | エチレンオキサイドガス除害装置 AJ-100 | 株式会社 三浦プロテック | 010-0304 |
| | 3M ステリパック専用 EOガス排出処理装置 3M EO Abator 50 | スリーエム ヘルスケア株式会社 | 010-0305 |
| | 酸化エチレンガス除去装置 CNES-150 | 株式会社 パックス | 010-0306 |
| 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野 | | | |
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 石川県 | 油分解微生物製剤を使用した含油排水処理技術 | 株式会社 ゲイト | 020-0301 |
| | 油脂分解菌を用いた油脂含有排水処理装置 | アムズ株式会社 | 020-0302 |
| 大阪府 | 酵素反応・流動床式接触ばっ気法 | 株式会社 水工エンジニアリング | 020-0303 |
| | 油脂分解菌付着固定床式接触ばっ気法 | コンドーFRP工業株式会社 | 020-0304 |
| | 複合微生物活用型・トルネード式生物反応システム | 株式会社 バイオレンジャーズ | 020-0305 |
| | 凝集反応・電解浮上分離法 | 有限会社 リバー製作所 | 020-0306 |
| 広島県 | ゼロコンボ(厨房用「油回収」)排水処理設備) | 広和エムテック株式会社 | 020-0307 |
| | 食堂・厨房排水処理施設「スーパーアクア」 | 株式会社 アクアメイク | 020-0308 |
| 山岳トイレ技術分野 | | | |
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 富山県 | 土壌処理方式 | 株式会社 リンフォース | 030-0301 |

16年度

| 酸化エチレン処理技術分野 | | | |
|---------------------|----------------------------------|------------------|----------|
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 東京都 | EOG除害装置 EJ-250L型 | 液化炭酸株式会社 | 010-0401 |
| | 酸化エチレン処理装置 PurEo | 株式会社 島川製作所 | 010-0402 |
| 小規模事業場向け有機性排水処理技術分野 | | | |
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 広島県 | 粉末凝集剤を用いた加圧浮上法 小型排水処理装置「加圧浮上型彗星」 | 株式会社 トーエネック | 020-0401 |
| | 浮上油自動回収機「グリスバキューマシステム」 | 株式会社 丸八 | 020-0402 |
| | 振動フィルター併用凝集加圧浮上法 ミイケコロイドセパレーター | 株式会社 御池鐵工所 | 020-0403 |
| 埼玉県 | 担体流動槽式食堂排水処理装置 | フジクリーン工業株式会社 | 020-0404 |
| | 傾斜土槽法による厨房排水の高度処理装置 | 株式会社 四電技術コンサルタント | 020-0405 |
| 香川県 | 膜分離活性汚泥法 | 株式会社 クボタ | 020-0406 |
| | 生物膜(回転接触体)法 | 積水アクアシステム株式会社 | 020-0407 |
| 大阪府 | 微生物製剤添加型ハイブリッド生物処理法 | 株式会社 エス・エル | 020-0408 |
| | 揺動床式生物処理法 | デンセツ商事株式会社 | 020-0409 |
| 福島県 | ACA法水処理装置 | 常磐開発株式会社 | 020-0410 |
| 山岳トイレ技術分野 | | | |
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 特定非営利活動法人 山のECHO | 化学処理方式 | 株式会社 オリエント・エコロジー | 030-0401 |

| 化学物質に関する簡易モニタリング技術分野 | | | |
|--|---|-----------------------|----------|
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 愛知県 | アトラジンキット(マイクロプレート法) | 日本エンバイロケミカルズ株式会社 | 040-0401 |
| | 高感度フェニトロチオン測定キット | 株式会社 ホリバ・バイオテクノロジー | 040-0402 |
| 兵庫県 | PCB EIA System | 株式会社 エンバイオテック・ラボラトリーズ | 040-0403 |
| | 環境汚染診断薬エコロジーナ陰イオン界面活性剤 LAS ELISAキット(マイクロプレート) | 日本エンバイロケミカルズ株式会社 | 040-0404 |
| 山口県 | 環境汚染診断薬エコロジーナルキルフェノール(AP) ELISAキット | 日本エンバイロケミカルズ株式会社 | 040-0405 |
| | イソキサチオン測定キット | 株式会社 ホリバ・バイオテクノロジー | 040-0406 |
| | マラチオン測定キット | 株式会社 ホリバ・バイオテクノロジー | 040-0407 |
| | イソプロチオラン測定キット | 株式会社 ホリバ・バイオテクノロジー | 040-0408 |
| ヒートアイランド対策技術分野(空冷室外機から発生する顕熱除去技術) | | | |
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 大阪府 | 顕熱抑制装置(ドレン水活用方式) | 株式会社 ハンシン | 050-0401 |
| | 顕熱抑制装置(噴霧散水冷却方式) | 株式会社 ハンシン | 050-0402 |
| | 水噴霧による顕熱抑制技術 | オーケー器材株式会社 | 050-0403 |
| | 間接散水冷却装置 | 株式会社 不二工機 | 050-0404 |
| VOC処理技術分野(ジクロロメタン等有機塩素系脱脂剤処理技術) | | | |
| 交付先 | 技術名 | 申請者名 | 実証番号 |
| 東京都 | 圧縮深冷凝縮方式溶剤ガス回収装置 SOLTRAP S-150WACW | 株式会社 モリカワ | 060-0401 |
| | 有機塩素系ガス回収装置 | システムエンジニアリング株式会社 | 060-0402 |

平成 17 年度 環境技術実証モデル事業・ロゴマークの使用指針

平成 17 年 10 月 14 日

1. はじめに

環境省では、環境技術実証モデル事業を一般に広く普及させることを目的として、下記に示すロゴマークを「環境省環境技術実証モデル事業ロゴマーク（以下単に「ロゴマーク」という。）」として決めました。

◆環境技術実証モデル事業ロゴマーク◆



2. 使用の範囲及び制限

このロゴマークは、以下の（１）～（３）のために使用することができます。その他の目的のために使用することはできません。

- （１）本モデル事業を新聞・雑誌・学術論文・ウェブサイト等において一般に紹介するために使用することができます。この形態の使用に際し、特別な許可は必要ありません。
- （２）環境省及び実証運営機関^{※1}において実証試験結果報告書が承認された対象技術について、当該技術の紹介や広告等のために使用することができます。ただしその際には、「3. 表示方法について」に示す表示方法を遵守しなければならず、なおかつ、当該技術に関して、環境省その他本モデル事業関係機関による保証・認証・認可等を少しでも謳うような状況で使用してはいけません。
- （３）実証運営機関及び実証機関^{※2}に選定された機関において、それら機関に選定されている旨の表示のために使用することができます（関係機関への届出や承認等は特に必要ありません）。ただし、当該機関が実証運営機関や実証機関である期間が過ぎた後は、新たにこの形態による使用を行ってはなりません。

3. 表示方法について

○ 一般的な遵守事項

[1]環境省、実証運営機関、実証機関、データベース運営機関^{※3}その他のモデル事業関係諸機関による実証対象技術の事業者、製品、技術、サービス等についての保

証・認証・認可等を少しでも謳うような状況で使用してはいけません。

[2]ロゴマークを、製品、技術、サービス等の名称の一部に使用してはいけません。

* 実証番号の交付を受けた技術の紹介や広告等のために使用する場合は、以下の点についても遵守しなければなりません。

[3]環境省から交付された実証対象技術固有の実証番号を、ロゴマーク近傍に表示して下さい。

[4]どれが実証対象技術であるかが明確に判別できるように、実証対象技術の名前等の付近にロゴマークを配置して下さい。製品のシリーズの中で1モデルのみが実証対象技術であるような製品についても、その状況が明確になるようにして下さい。なお、製品のシリーズの1モデルについてのみ実証を受けた場合、製品の技術や性能が同一でない限り、原則、シリーズの他の製品についてロゴマークを使用してはいけません。製品の技術や性能が同一であるかどうかについて疑義がある場合には、環境省に協議して下さい。

[5]技術の紹介等に用いる場合には、ロゴマークは単独で用いず、「この技術の性能に関する情報は、環境技術実証モデル事業のウェブサイトでも入手することができる。環境技術実証モデル事業の名前やロゴマークの使用は、この技術やその性能に関して、環境省等による保証・認証・認可等を謳うものではない」という旨をロゴマーク近傍に常に記載して下さい。この記載は容易に識別できる大きさで表示して下さい。

○ ロゴマークの表示方法

[1]ロゴマークの配色は別紙に示すものとし、その他の配色を使用することはできません。

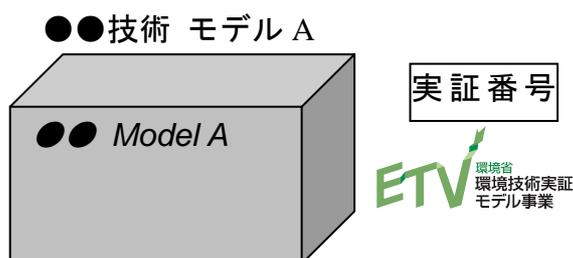
[2]ロゴマークは、独立したマークとして容易に識別できるように表示して下さい。

[3]ロゴマークに対して、切断・分割・変形等の加工を行ってはいけません。ただし、ロゴマーク全体の大きさを変えることは可能です。

[4]ウェブサイトにおいて使用する場合、ロゴマークは環境技術実証モデル事業ホームページ (<http://etv-j.eic.or.jp/>) へのホットリンクとして下さい。なお、バナー画像を利用される場合は、下記画像を任意の場所に保存して、HTML タグを以下のとおり記述して下さい。

| | 記述方法 |
|-----------------|---|
| (サイズ=160x50px) | <code>・・・</code> |
| (サイズ=130x40 px) | <code>・・・</code> |
| (サイズ=88x31 px) | <code>・・・</code> |

参考 製品やカタログ等にロゴマークを利用する場合の例

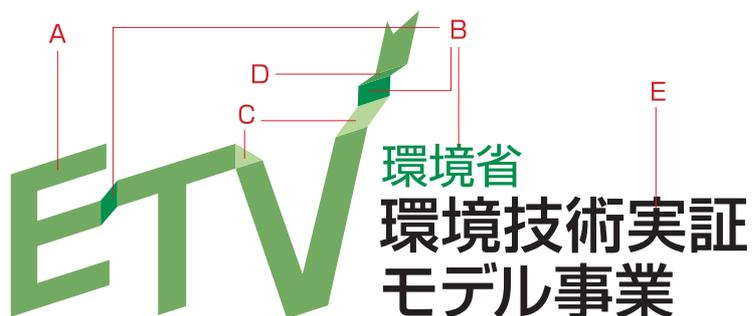


●●技術モデル A の性能に関する情報は、環境技術実証モデル事業のウェブサイト (<http://etv-j.eic.or.jp/>) でも入手することができます。環境技術実証モデル事業の名前やロゴマークの使用は、この技術やその性能に関して、環境省等による保証・認証・認可等を謳うものではありません。

- ※1 実証運営機関とは、実証試験要領の作成、実証機関の選定を行うほか、実証機関への実証試験の委託、実証試験にかかる手数料項目の設定及び実証申請者からの手数料の徴収を行う機関で、環境省が選定します。
- ※2 実証機関とは、実証手数料の詳細額の設定、実証対象技術の企業等からの公募、実証対象とする技術の審査、必要に応じて実証試験計画の策定、技術の実証（実証試験の実施）、実証試験結果報告書の作成を行う機関で、環境省又は実証運営機関が選定します。
- ※3 データベース運営機関とは、実証試験要領・実証試験計画、実証試験結果報告書等のモデル事業の成果や公募情報、その他の関連情報についてデータベースを作成し、その運営・管理・公表を行う機関で、環境省が選定します。

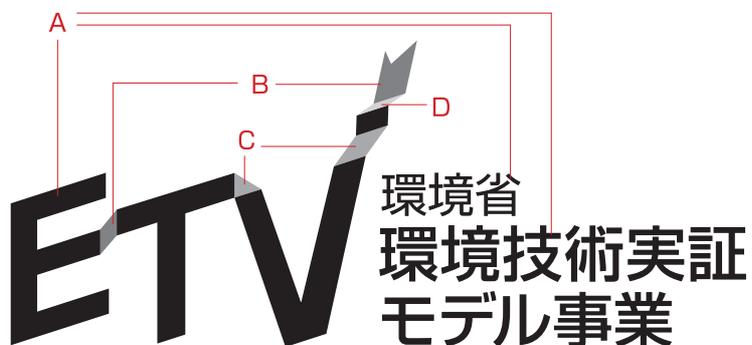
ロゴマークの表示色

■カラーでの使用



| | A色  | B色  | C色  | D色  | E色  |
|----------------------|--|--|--|--|--|
| 紙媒体等での使用 (CMYK) | C : 60% M : 15% Y : 80% K : 0% | C : 100% M : 20% Y : 100% K : 0% | C : 30% M : 2% Y : 50% K : 0% | C : 75% M : 15% Y : 90% K : 0% | C : 0% M : 0% Y : 0% K : 100% |
| webサイト等での使用 (RGB) | R : 100 G : 160 B : 65 | R : 0 G : 110 B : 45 | R : 180 G : 220 B : 125 | R : 65 G : 140 B : 50 | R : 0 G : 0 B : 0 |

■モノクロでの使用



| | A色  | B色  | C色  | D色  |
|----------------------|--|--|--|--|
| 紙媒体等での使用 (CMYK) | C : 0% M : 0% Y : 0% K : 100% | C : 0% M : 0% Y : 0% K : 60% | C : 0% M : 0% Y : 0% K : 40% | C : 0% M : 0% Y : 0% K : 20% |
| webサイト等での使用 (RGB) | R : 0 G : 0 B : 0 | R : 100 G : 100 B : 100 | R : 155 G : 155 B : 155 | R : 205 G : 205 B : 205 |